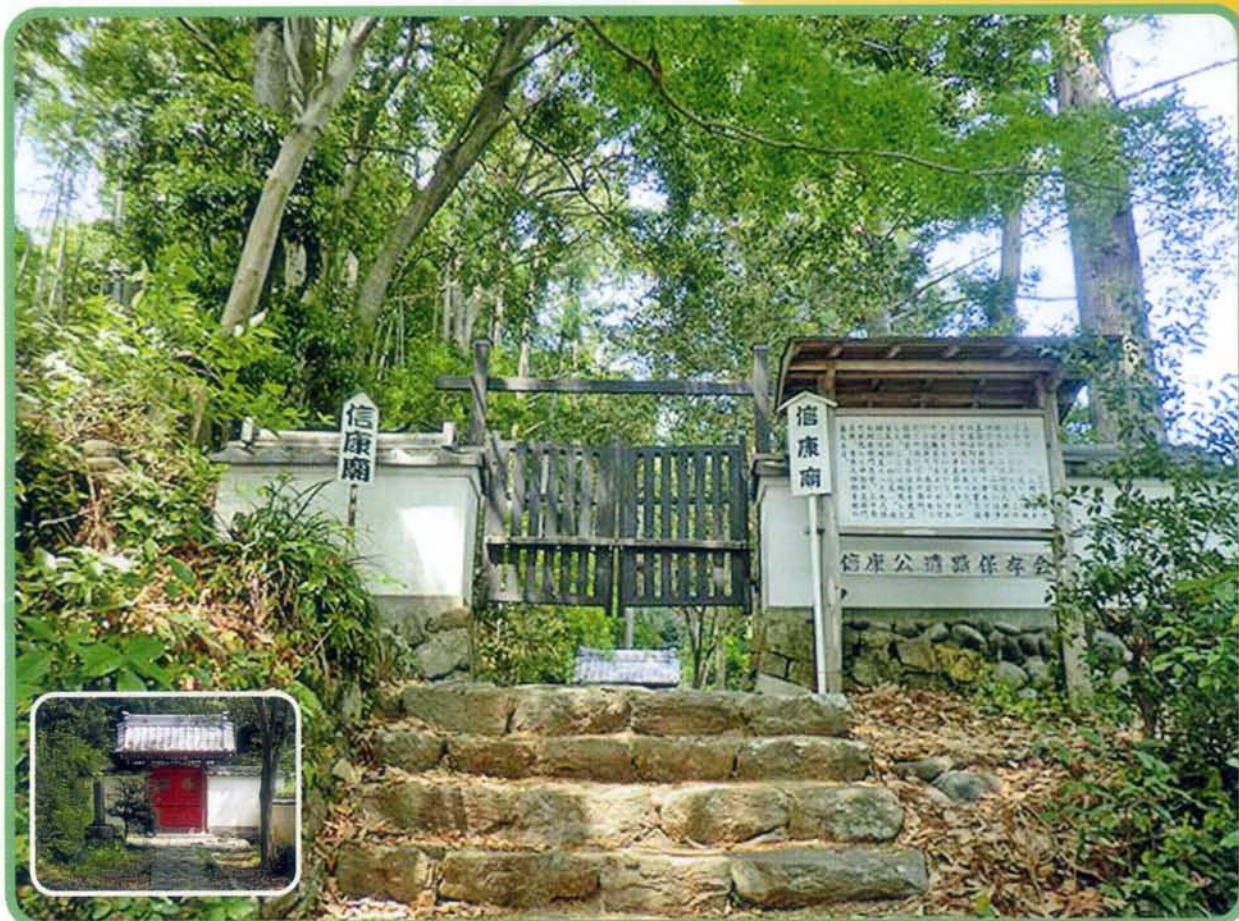


てんりゅう



写真は若くして非業の死を遂げた徳川家康の嫡男信康の廟所「信康廟」です。写真中央の階段の先には朱塗りの扉に「三つ葉葵」の御紋が鮮やかな霊廟がひっそりとした佇まいをみせています。入り口には次のことが記されています。

「天正7年（1579年）9月15日岡崎三郎信康が信長の口難に逢い二俣城で自刃した。この時浜松へ二俣村役人共が呼び出され、二俣には浄土宗の寺院何ヶ寺あり寺の名は何というか書き出せと仰渡しがあつた。ところが浄土宗の寺は一ヶ寺もないという。それでは庵室でもよいからという次第で、庵室のあつたこの地に信康の廟所、位牌堂、其外諸堂を建立した。」（以下略）

（写真は「東海道と川筋の往来文化」より）。

遠州灘沿岸の防潮堤整備事業

浜松市沿岸域で進む世紀のプロジェクト「防潮堤整備事業」。今回は、事業を推進している静岡県浜松土木事務所からの寄稿により、特集とさせていただきます。

この防潮堤建設に必要な大量の土砂は、地元天竜区の阿蔵山の土が運ばれています。



遠州灘を上空から臨む▶

▼防潮堤の築造工事



▼はじめに

静岡県では、甚大な津波被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え、篤志家及び浜松商工会議所等からの寄付金を原資として、浜名湖から天竜川河口までの浜松市沿岸域約17・5kmにおいて、防潮堤整備を進めている。

▼防潮堤整備の手法

想定される南海トラフ巨大地震については、①津波の到達時間が短い、②多くの人口・資産を抱える低平地で広範囲に甚大な浸水被害が想定される、といった課題がある。

これらの課題に対処するため、本県は地域住民の合意など条件が整った地域で、既存の防災林・砂丘、道路の嵩上げ・補強等による安全度の向上策「静岡モデル」の整備を推進している。

浜松市沿岸域（遠州灘沿岸）は津波の到達が早いことに加え、浸水が想定される標高の低い沖積平野の低平地に多



▲図-1 代表断面図

くの人口・資産、及び国道1号・JR東海道新幹線等の主要な交通が集中している。想定される甚大な社会的損失を軽減するため、篤志家及び浜松商工会議所等からの寄付金を活用し、他の地域に先駆けてレベル1津波高を上回る防潮堤の建設を進めている。速やかな工事着手と早期完成を図るため、用地等の問題のない海岸線沿いの長大な海岸防災林を嵩上げする手法をとっている（図-1）。

▼浜松市の被害想定・減災効果

浜松市沿岸域防潮堤は、想定される南海トラフ巨大地震・津波に対して減災対応するものである。静岡県第4次被害想定における浸水想定（レベル2）は、宅地面積で4190ha、特に建物の倒壊・流出の危険性が高まる浸水深2m以上の宅地で274haの浸水が発生する想定となっている（図-2）。

ここに堤高1.2+13mの防潮堤を整備することで、宅地の浸水面積が約7割低減し、浸水深2m以上



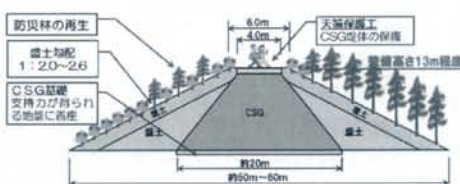
▲図-2 静岡県第4次被害想定における浸水想定（レベル2津波）

の宅地の浸水が、97%低減すると見込まれる。依然として津波浸水域が残り、津波避難などの対策が求められるものの、大きな減災効果が期待できる。

▼CSG工法の適用における検討

本事業の防

潮堤には、波力に対し工学的な解析が可能であり、覆土することで海岸防災林の再生が可能となる「土堤+CSG工法」を採用した（図-3）。



▲図-3 断面図

（1）迅速な施工と施工技術水準の確保
CSG工法は汎用機械での施工が可能であることから、機動力があり地域の状況を熟知した地元企業を積極的に活用している。また、近接した複数の工区が、同等の施工技術水準を保ちつつ円滑に工事を進められるよう、CSG工法に精通した大手企業が参加したConstruction Management方式（以下「CM方式」という）を導入している。

(2) 運搬土量の最小化

本事業では約200万³mのCSGを使用する計画である。CSGの母材には天竜区阿蔵山で採取される段丘堆積物及び泥岩を使用することから、土砂運搬コストが工事費に大きく影響する。CSG母材と現地発生砂の混合を検討した結果、20～40%の現地発生砂を混合できることが判明し、運搬土砂量を大幅に削減することができた。



▲写真-1 施工状況

(3) 基礎地盤高の評価

砂地盤の上に連続した構造物を整備することから、必要な支持力が得られる地盤に確実に着座させる必要がある。精度を保ちつつ迅速に基礎地盤高を選定するため、スウェーデン式サウンディング試験(以下、「SWS」という)を活用した基礎地盤高評価手法を確立した。

約500mに1箇所程度のボーリング調査と平板載荷試験、SWS結果の

相関を得て、実施では延長方向に25m間隔のSWSにより基礎地盤高を評価している。



▲写真-2 スウェーデン式サウンディング試験状況

▼おわりに

平成26年度は延長約5km区間を発注しており、本年秋頃より本格的なCSGの打設が始まる。現在、CSG製造プラントの建設を進める一方、基礎掘削を順調に進めている。

今後、残りの整備区間においても、自然環境への配慮や利活用、関係者との調整など課題は山積している。

しかし、多くの市民や篤志家の期待に応え、一日でも早く安全・安心を届けするため、オール浜松で一丸となつて防潮堤整備に邁進していく。

(文責:協会事務局)

協会ニュース

「行政との意見交換会」の開催

本協会では例年同様、土木・農林の公共工事発注機関である静岡県及び浜松市と天竜建設業協会役員との「意見交換会」を開催しました(日程は表のとおり)。いずれの会議においても、長谷川会長から会員企業の厳しい現況や業界の課題等を説明するとともに、工事の発注・施工や工期、設計・積算、評価点など、業務全般に亘る事項について意見交換し、また中には事務的な取扱い等について改善・検討を要望いたしました。

「夏休み親子現場見学会」の開催

本協会では、地域への貢献とともに公共事業の必要性や土木技術を学ぶ機会として、毎年夏休みに「親子現場見学会」を開催しています。

本年は、去る8月5日、11組36人が参加し、浜松市沿岸域で進められている「防潮堤」を見学しました。

当日は、県浜松土木事務所の職員の方の案内で、防潮堤の出来るまでや効果等について説明を受け、参加者からは津波に対する効果や、土砂の量、土木技術などについて関心が寄せられていました。



▲浜松市土木部との意見交換会



▲県浜松土木事務所との意見交換会

日時	機関名	出席者(行政)
4/21 13:30～	県西部農林事務所天竜農林局	平井局長ほか幹部職員
5/15 10:30～	浜松市土木部	倉田部長ほか幹部職員
6/24 13:30～	浜松市天竜農林事務所	天野所長ほか幹部職員
7/16 10:00～	県浜松土木事務所	鈴木所長ほか幹部職員





ボウリングに学ぶ

S・T

『柔よく剛を制す』

私が好きなことわざの一つです。本来、弱い者がかえって強い者を負かすという意味(※)ですが、私の場合、「力が無くても、力強さを引き出せること」という意味で使っています。今回紹介させていたくのは、それを体感することが出来るスポーツの一つ、ボウリングです。

パワーボウラーを例に挙げて説明します。腕力がある人は力強いボールをコントロール良く投げることが出来るので、ストライクの確率は高いです。ですが、そのうち腕が疲れてくるのでコントロールも効かなくなり、スコアが落ちてきます。翌日(又は翌々日)には、筋肉痛のおまけもついてきます。

なぜ女子プロボウラーは腕力が無いにも関わらず200点以上を連発できるのでしょうか?それは、「腕力」ではなく「重力」を使っ

てボールを投げているからです。肩を支点とした振り子を作って最下点でボールを手放しているだけなので、精度が落ちにくいのです。

私はこの理屈に感銘を受けました。ボウリングに対する考えがガラッと変わったのです。単に高得点を出すことや、人に勝つためではなく、力を使わずに力強いボールを投げる事が出来るようになることに興味を湧いたのです。

これを実践に実践しようという年も練習していますが、そう簡単ではありません。未だに満足できる投球方法に至っていませんが、その困難さこそがこのスポーツの面白さの一つと言えます。

ゴルフもそうですが、ボウリングに限らず、力任せが通用しない世界はたくさんあると思います。それを技や努力で補って大きな成果が得られたとき、それが更なる努力のきっかけとなり、人を成長させ続けます。

最初は遊びのつもりで始めたボウリングでしたが、私にとってそれは今では人生哲学の一部になってしまいました。

私は年を取っても続けていると思います。力が無くても、力強くあり続けるために。

※出典：故事ことわざ辞典より

かんとくさん

静岡県西部農林事務所

天竜農林局治山課

主査 篠田松代



私が監督員として仕事をし始めたころの話です。

治山工事の現場は、高い足場や不安定な法面ばかりで、足がすくむこともありました。ある時、高い足場を難なく歩く受注者の社長さんに尋ねました。

「怖くありませんか?」

すると、社長は

「怖いさあ。でも、これが仕事だからね。」

と笑っておっしゃいました。

その言葉から現場で仕事する方の覚悟を教わったように感じ、はっとしたことを今でも覚えてい

ます。

我々は、地域の方からの要望を受けて、工事を計画します。一方で、施工目的を確保しつつ、より安全でより経済的且つ施工性のよい方法を模索する責務も負っています。千差万別の現場で最良の方法を見出すことは、一監督員の力だけでは困難です。現場経験豊富な建設会社の方々からの御助言、御協力から、毎日数多くのことを学ばせていただいています。監督員そして技術者として、現場は何にも代え難い技術研鑽の場です。

地域の安全安心を高めるために、また「怖い」と感じながら施工する作業員の方を少しでも減らすことができるよう、監督員としてこれからも努めてまいります。

今後とも、現場で培われた知識や知恵を出し惜しみせず、ピンバシ御助言・御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



建設ギャラリー

工事名称 平成25年度 林道施設災害復旧事業
林道戸中山線災害復旧工事
工事場所 浜松市天竜区水窪町地頭方 地内
発注者 浜松市
工期 平成26年2月5日～同年8月29日
施工業者 有限会社 飯島建設
工事概要 復旧延長 47m 擁壁工 $V=397.4\text{m}^3$

この箇所は水窪ダム上流にあり20年前には河床も5m位は下がっていました。すぐ近くにコンクリートに使う骨材の採取プラントがあり、大雨が降ると水がつき被害にあっています。以前はカゴ枠工が施工されていました。水の勢いはすごいものだ実感しています。



施工前



施工後



私の安全パトロール日誌

安全指導員

龍川建設(株)

原 哲也

日頃会員の皆様、関係機関の皆様には、私共の安全パトロールに御協力、及び御理解を頂き誠にありがとうございます。この場を御借りして御礼申し上げます。

さて、毎日大変暑い日が続きます。みなさんの体調は、いかがでしょうか？

この時期、夜、暑くて眠れない(寝不足気味)この時期食欲がなくなり水物ばかり(夏バテかな)夏は、しょうがないから……

この様な状態で、炎天下での仕事、本当に大変です。で、怖いのが「熱中症」です。

水分とって、塩分とって、日陰で休む……

そんな事は、解っているんですが……ちなみに弊社では、毎日の朝礼時、「今日も、暑くなりそうです。自分の身体の事は、他では、解らないので、自分で、こまめな水分補給、休憩をとって『熱中症』に充分気を付けて作業して下さい。」と積極的な対応を確認する事をしています。

みなさん、倒れてからでは、遅いです。自分で「休む勇氣」「水分補給する勇氣」を持ち合わせましょう。

まだまだ暑い日が続きますので『熱中症』に気を付けて、作業の方『安全第一』でお願いします。

「頑張れ、現場、作業員」



【改正「公共工事品質確保法」】

本年6月に公共工事の品質確保の促進に関する法律が改正され、基本理念に「現在及び将来の公共工事の品質確保」及び「担い手の中長期的な確保・育成の促進」が追加された。背景には、ダンピング受注、担い手不足、地域の維持管理体制への懸念といった建設業を取り巻く様々な課題があげられる。

これらにより、担い手の育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう、施工の実態を反映した予定価格や最低制限価格の設定、計画的な発注等、発注者の責務が明確化される。また、多様な入札制度の導入も行われる。こうしたことから最新単価での予定価格、歩切りの根拠、ダンピング受注の防止等の効果が期待される。

発注者サイドの具体的な責務については、今後国において「運用指針」が示され、県・市ともこれをもとに決定していくとみられ、その内容に注目が集まる。

一方、こうした流れを受け、地域建設業もその使命を自覚し、パートナーとしての信頼を高めていく姿勢が何よりも重要になってくるだろう。

私の家族は、妻、息子中学1年、娘小学4年の4人家族です。
息子は、中学の野球部には所属せず、新城のクラ

My Family



天竜土木整備事務所 佐久間土木グループ

杉原 努

が、中学部ではレベルの高いスタッフの指導のもと練習しており、行き帰りの車中での話から息子の成長を感じ取っている

ブチムで硬式野球を頑張っている。小学生のころは、チームのコーチとして息子の成長を見ることが出来た。来ましたが、



今日この頃です。
娘は、妻に似て活発な子です。体を動かすことが大好きで、今はクラブスタジオでのダンスと水泳を頑張っています。土・日・祝日と息子の野球で留守が多く寂しい思いをさせてしまっているにもかかわらず、「パパがんばって」と時折もらう娘からの手紙に癒され、日々の仕事を頑張っています。

私は遠州中央農協の春野支店で共済担当として働



Coffee Break

遠州中央農協
春野支店
小城由照

いています。農協の事業の中の一つ、共済では人・家・車の保障、生命共済、建物更生共済、自動車共済等を提供しています。お客様のニーズに合った保障をご案内できるようにこれからも努力していきたいと思っています。

休日は息子のサッカー応援に行くのが楽しみです。暑い中で、ボールを



追いかけている子供達のがんばっている姿に元気をもらっています。

建設業界の皆様へ

建退共への加入のすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入。290万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で220万件、1兆5,512億円の退職金をお支払いしています。(平成26年7月末現在)

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

特長

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

こんなに有利

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
40年	312万円	563万円
35年	273万円	461万円
30年	234万円	372万円
25年	195万円	293万円
20年	156万円	221万円
15年	117万円	155万円
10年	78万円	94万円

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は一日310円
(加入労働者ひとり)

50年
もつづく

それぞれの時代
確かな退職金

1964 1968 1970 1987 1988 1991 2002 2012 2013

手帳は定期的に確認しましょう

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

お申込・お問い合わせ先
建退共 静岡県支部
〒420-0857静岡市葵区御幸町9-9 TEL054-255-6846

独立行政法人労働者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL03-6731-2866

建退共

検索